

施策評価シート（令和2年度 実績）

基本目標	ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
------	--------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	地域で支えあう体制の構築			評価者	健康福祉部長	
施策内容	人口減少・少子高齢化の進展により、地域本来の支えあい機能が薄れる中、社会的弱者となりうる高齢者や障がい者が健やかに地域で自立した生活を送れるよう、多世代がかかわることで、地域で支えあう体制を構築します。					
主な事業	予算等事業名		行政評価結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	地域介護予防活動支援事業	適当	有効とは言えない	コロナにより、地域の通いの場が予定どおり実施できなかった。	
	2	生活支援体制整備事業	適当	有効とは言えない	コロナにより、協議体の話し合いが予定どおり実施できなかった。	
	3	認知症総合支援事業	適当	有効だった	コロナで縮小したが、認知症サポーター養成講座を実施した。	
	4	在宅障がい者援護事業	良好	有効とは言えない	コロナにより、手話講習会を一部しか実施できなかった。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の通いの場の参加者（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	13,617 (7,000) ※（ ）はコロナ想定	3,500	5,000	7,500	C
	実績		2,253			
	分析	コロナにより地域の通いの場の中止が相次ぎ、計画値を大幅に下回っている。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
	重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	65歳以上の要介護認定者の割合			
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
計画		17.6	16.0	16.1	16.7	B
実績			16.7			
分析		計画値を上回ったが、基準値（県の値）よりは低い状況を維持している。				
方向性		継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	認知症サポーター養成講座受講者数（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	109	30	200	200	A
	実績		35			
	分析	計画値を達成しており、次年度以降の計画値増加への取り組みを進める。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	手話通訳者養成講習会の参加者数（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	22(10) ※（ ）はコロナ想定	16	18	20	—
	実績		コロナに伴い中止			
	分析	コロナにより手話通訳者養成講習会を一部しか実施できなかったため実績値がない。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	・コロナ禍において地域の通いの場や協議体による話し合いが中止される中、地域の方々を通じ対象者に健康増進のチラシを配布するなど、感染対策に留意しながら地域と連携し可能な活動に取り組んだ。			
	課題	①コロナにより人々が集う従来の事業実施が困難となった。 ②高齢化の進展に伴い認知症対策が重要となっている。			
	改善点 (課題番号 に対応)	①感染症まん延下における安否確認や健康維持の手法を検討する。 ②認知症予防を推進するとともに、認知症への理解を促進するよう事業展開を図る。			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
		<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった